

今後の富士見市デマンドタクシーについて

1. 運行の目的について

- 市内循環バスでの移動を補完する移動手段を担う。
市内循環バスが運行していない地域の方にもご利用いただける移動手段

2. 主な利用実態について

◇ 地域別（登録率 = 登録者数 / 地域人口 ・ 利用率 = 実利用者 / 地域人口）

利用実態①：市内循環バスの運行地域に関係なく利用があった。

➡ 東武東上線東側、西側地域における登録率や利用率はほぼ同率。

利用実態②：鉄道駅から近い地域や遠い地域では利用率は低く、鉄道駅から少し離れた地域での利用率が高かった。（別紙1参照）

※鉄道駅から近い地域…ふじみ野東・西、大字鶴馬（東武東上線西側地域）等

※鉄道駅から遠い地域…東大久保、南畑新田、下南畑等

※鉄道駅から少し離れた地域…貝塚、渡戸、大字鶴馬（東武東上線東側）等

◇ 個人別

利用実態①：高齢者の利用が多く、70歳以上の方が全利用の6割以上を占める。

※事前送付資料 P.10①参照

利用実態②：自宅から乗車して、病院や鉄道駅への利用が多くあった。

※事前送付資料 P.9⑦参照

利用実態③：利用回数の上限に達した方は、実利用者のうち約15%であった。

※事前送付資料 P.12⑤参照

3. 今後のデマンドタクシーの方向性について（主な利用実績を踏まえて）

地域別利用実態 ・ 個人別利用実態から…

- 制度に対する需要は、地域単位よりも個人単位での需要が多く確認できる。
- 高齢者等の利用が多く、自宅から病院や鉄道駅への移動に多く利用されている。



➤ 移動手段の確保が必要であろう方に提供する考え方

検討方法①：利用実態を基に移動手段の確保が必要であろう方を選出。

検討方法②：限られた財源の中で、利便性の高い制度を検討する。

➤ 効率的な予算の執行を図っていく